

令和7年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立田辺高等学校

校長名：田中 紀行

目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

・文武両道を基本として、生徒一人一人の資質と能力の向上を図り、確かな学力と豊かな人間性を備えた生徒を育成する学校

・合理的な思考、積極的な行動ができるとともに豊かな情操をもつ生徒

学校評価の公表方法

ホームページ掲載等により、保護者、学校関係者、地域住民等に重点目標及び具体的取組を示すとともに、評価の結果を広く公表する。

現状・進捗度	A	十分に達成している。（80%以上）
	B	概ね達成している。（60%以上）
	C	あまり十分でない。（40%以上）
	D	不十分である。（40%未満）

自己評価（分析、計画、取組、評価）								学校関係者評価 （2月 日実施）	
番号	計画・取組				評価（4月30日現在）				
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策		
1	・授業時数の確保 ・観点別学習状況の評価の充実 ・ICT機器の効果的な活用についての研究	B	年間授業時数を確保するための計画を立案し、調整を行う。また、時間割の編成を重点的に行い、生徒と教師の両方の負担が偏らないように各科・教科と調整を行う。	・生徒の授業への取り組み状況および年度末に提案される改善案の状況（授業アンケートや教職員評価等）					
			観点別学習状況の評価について、評価規準の充実、改善を図るため、学期毎に各教科と連携を図り、評定の基準について検討する。	・評価規準に基づく評価状況及び年度末に提案される改善案の状況（教職員評価等）					
			ICT機器を効果的に活用する場面を各教科で設定し、共有・研究する機会を設ける。	・各教員の授業におけるICT活用の状況（アンケート結果等）					
2	・生徒一人一人が主体的に自らの進路や社会の未来を切り拓いていける資質・能力を育成するための系統的・体験的な教育活動の提供 ・多様な進路希望に対応し、個々の進路意識を高めることのできる情報及び機会の提供	B	ユネスコスクールの取り組みの中心としてESDを位置づけ、総合的な探究の時間を軸に、地域、社会及び自己の進路設計について考察させる。	・ESD及び進路に係る総合的な探究の時間やLHRにおける生徒の活動状況（アンケート結果、教職員評価等）					
			生徒・保護者及び担任・学年団に対して、適切な情報提供を行い、ガイダンス機能・カウンセリング機能の充実を図る。	・模試分析会（3学年5回、1・2学年3回）、個人面談（5回以上）の実施状況及びClassiの活用状況（教職員評価等）					
			社会人講師、大学教授、教育NPO、卒業生等多彩な外部人材による講義・講演の機会を設け、生徒一人一人の進路目標の具体化を図る。	・外部人材等を活用した各種取り組みの実施及び成果の状況（アンケート結果等）					
3	・卒業後に生かすことのできる、社会人として身につけておくべきマナーやモラルの獲得をめざす指導の充実 ・心身の健康保持・増進や衛生環境の保持について学び、自己管理につなげることのできる能力の育成	B	服装・頭髮、交通ルール、スマートフォンの使用等について重点的に指導する期間を設定し、全職員による継続的な指導を行う。	・全教職員の共通理解のもとで行う計画的・継続的な指導の実施状況及び生徒の改善状況（教職員評価等）					
			清掃活動や厚生委員会による啓蒙活動、外部講師による講習会の実施及びSCや外部機関と連携した個別の生徒対応を計画的に実施する。	・厚生委員会による評価も加味した各取り組みの実施状況（アンケート結果、教職員評価等）					
4	・自主的・自律的な学校行事や生徒会活動の企画・運営 ・効果的なクラブ活動の工夫 ・併設中学校と連携かつ共生した行事や活動の企画・運営	B	・生徒会役員及び執行部の役割や責任についての意識を高めるとともに、自主的・自律的に活動に取り組める支援を行う。	・生徒総会、LHR、中央委員会及び各種委員会における提案内容や議論の質の状況（アンケート結果、教職員評価等）					
			・生徒の学習機会と安全・安心な環境を確保することに加え、効果的で活発、教育的かつ合理的なクラブ活動等の運営を支援する。	・具体的取組の達成状況及び生徒の達成感や満足感、成長の様子等の状況（アンケート結果、教職員評価等）					
			・各行事やクラブ活動等の内容について、中学校と連携した企画・運営に努める。	・中高一貫校の特色を意識して実施された各種行事や活動の状況（教職員評価等）					